

## 委員会宣言（案）

J R東日本輸送サービス労働組合水戸地方本部は、本日、水戸市ザ・ヒロサワ・シティ会館において、第3回定期地方委員会を開催し、「職場で働く全ての労働者から声を上げ、職場にある問題を職場から解決していく」ことを目指し、更なる輸送サービス労組の強化と拡大を実現させることを確認した。

2023年の賃金引上げは“物価高に負けないベースアップの実現”をなんとしても勝ち取らなければならない。会社が提案した「初任給特別措置の実施」と2021年度の定期昇給カットによって、世代間の公平性を欠き、不平等感を助長する”歪んだ賃金カーブにもつくり変えられようとしている。経験労働で成り立つ鉄道における“年功型賃金制度の堅持”のために「定期昇給（昇給係数「4」）の完全実施」と『全社員一律3,000円+基本給に対し全社員定率4%（定期昇給を含まない）』を要求に掲げ“当たり前の生活”を送るため全職場から要求実現に向けた運動をつくり出していこう。

昨年来、未曾有の物価高が襲い掛かり、私たちの生活は危機に直面し困窮を極めている。そして、労働力だけが安く買い叩かれ、一向に賃金が追いつかず、実質賃金の低下に拍車がかかっている。「もう、生活できない。会社は社員の努力と苦勞に答えていない」これらは全ての職場から聞こえる悲鳴と憤りの声だ。私たちは、これらの声に応えるために、あらゆるたたかいを高揚させて要求満額の実現を目指し、J R東日本グループに働く全ての仲間と共に、物価高に負けないベースアップを実現するためにたたかい抜こう。

J R東日本は、憲法で保障されている正当な労働組合活動に支配・介入している。2月2日『脱退パワハラ訴訟』は、証人尋問（第1回）が行われ原告側の証人として証言台に立った仲間は、多くの仲間が命懸けで集めた数々の証拠の意味と本質を正しく伝えるため証言した。「あったことをなかったことにはできない！」のスローガンのもと全ての仲間と共に堂々と勝利判決を目指していこう。

一方、今も止むことのない不法行為・パワハラに対し、東京地本と八王子地本は、東京都労働委員会へ新たに『不当労働行為救済申立て』を行った。私たち水戸地本も、第5回定期大会で確認した「板倉副委員長に対する強制転勤」の不当労働行為は、救済申立ての最終準備に入っている。この間、簡易苦情処理を提出した仲間の思いも合わせ、さらに今後も強制転勤があればこの申し立てに証拠を追加し、たたかっていく。

11月3日、工務連合分会で新たに組織拡大を実現した。加入した組合員に対する、会社の異常なパワーハラスメントと障がい者雇用を否定する言動は絶対に認めることはできない。本人の怒りと経営姿勢への仲間の怒りが工務連合分会を中心とした支援・連帯となり、社会復帰を勝ち取ってきたことは大きな成果だ。さらに、いわき連合分会では2名の組織拡大も実現した。加入にあたり「不当転勤は納得できない。早く第三者機関に出て欲しい」「みんなに早く気付いて欲しい。労働組合は大切だと思う」「会社と対等に議論したい」と述べている。全てのたたかいを組織拡大へと繋げ、ものを言えず悩み苦しむ全ての仲間と運動をつくり出していく。

業務用タブレットにおける「新JINJRE初期設定作業」や「D-TAC」のアップデートについて、会社は「労働ではない」として超過分の賃金を支払わなかったのである。しかし、労基署の見解では労働であることは明白であり労基法違反にあたるという考え方が示されている。これらは、「お願い業務」として会社は恣意し社員自らの意志に委ねたいのである。今後、「柔軟な働き方」や「4,000名削減」を見据えた職場風土の“地ならし”がすでに始まっているのだ。

3月18日ダイヤ改正より、「中編成ワンマン運転」が常磐線に拡大する。今なお水戸線中編成ワンマン運転の安全性・利便性低下については団体交渉での問題解決は図られていない。特に、カメラの死角や白化・赤化による視認性低下や起動開始時の手順の曖昧化などお客さまの命に直結する重要課題が棚上げになっているのだ。そういう中で常磐線導入を目前に控えた今、団体交渉の強化のみならず利便性の観点も含め地域との連携を強化し、問題解決を図っていく。

鉄道開業150年を迎え、会社は36路線72区間の赤字ローカル線を公表し、水戸地本内では水郡線が該当している。持続可能な地域交通のあり方を地域と連携し検討していくことが重要となっている。そのために、日本輸送サービス労働組合連合会と連携し「調査行動」に取り組み、地域に愛される鉄道と2度と雇用不安のない安心して働ける環境を職場と共につくり出していく。

J R東日本輸送サービス労組水戸地本は、職場のすべての仲間と共に、「働きがい」と「生きがい」をもって働くことができるJ R東日本会社を取り戻すため、あらゆるたたかいを結集軸に問題を解決していく。真の「仲間」を大切に、未来の担い手のためにも更なる組織強化・拡大に、本気で立ち向かっていこう。

以上、宣言する。

2023年2月18日  
J R東日本輸送サービス労働組合  
水戸地方本部第3回定期地方委員会